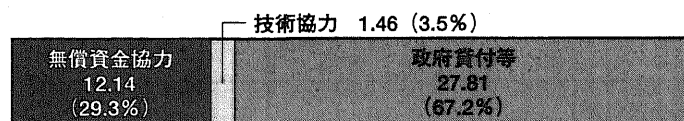


(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	27.99	225.57	
	有償資金協力 (億円)	0	94.92	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.64	31.74	
	形態別	研修員受入 (人)	17(新規)+1(継続)	132
		専門家派遣 (人)	1(新規)+0(継続)	4
		調査団派遣 (人)	31(新規)+0(継続)	335
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0.4	67
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
開発調査 (件)	0	8		
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対マリODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
コロフィナ地区給水計画 (詳細設計)	鉱山エネルギー 水利省	㈱三祐コンサル タンツ	96	0.82	97.2.20	96.7 (本) 96.10 (報)	

マリの首都バマコでは、給水普及率が低いというえに、人口の流入により給水事情が逼迫していることから、バマコ内のコロフィナ地区に給水施設を整備するための詳細設計を行う。

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業畜産環境 省	㈱日本国際協 力システム	96	3.50	96.6.14	96.12 (現)	96.8 (実)

マリ政府は世界銀行、国際通貨基金、その他の援助国および国際機関の協力により各種の経済改革計画を実施している。農業部門では、主要穀類、綿関連部門の改善を組み込んでいるが、旱魃やバクタによる被害が大きい現状では、生産性の向上が大きく阻まれている。それに加えて、肥料、農薬、農業機械などの生産用資機材の価格上昇が追い打ちをかけている。同国政府は、食糧自給、持続的農業発展のための農民の生活水準の向上、国際的競争に耐え得る農作物の生産を果たすため、農業分野を経済成長

の原動力と位置づけ、食糧増産計画を策定した。本件は、同国が策定した食糧増産計画を推進するため、農業資機材の調達を図るものである。

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校建設計画	基礎教育省教育プロジェクト局	㈱大建設計				96.6 (事) 96.10 (本) 97.3 (報)	
バマコ地域ほかの小学校教室などの建設を行う。							

モーリタニア

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国の ODA	無償資金協力	(億円) 28.51	223.54	
	有償資金協力	(億円) 0	114.07	
JICAの 技術協力 実績	技術協力経費	(億円) 4.92	14.64	
	形態別	研修員受入	(人) 13(新規)+2(継続)	75
		専門家派遣	(人) 0(新規)+3(継続)	20
		調査団派遣	(人) 52(新規)+0(継続)	119
		協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
		機材供与	(100万円) 10	76
	単独機材供与	(100万円) 8.34	18.34	
	開発調査	(件) 2	2	
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0	

わが国の対モーリタニアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 23.23 (71.6%)	技術協力 3.80 (11.7%)	政府貸付等 5.42 (16.7%)
----------------------------	-------------------------	--------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
船舶船体検査用機材	一式	8,343	海運経済漁業省海運局	一般単独機材	研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
キファ市地下水開発計画	キファ市には整備された給水網がなく、住民は水質、水量ともに問題の多い浅井戸やたまり水を利用して。深井戸の水源となり得る帯水層については過去にいくつかの調査がなされているものの、いずれも不十分な内容にとどまっております、情報が不足している。本件は、モーリタニア政府の要請に基づき、同国のキファ市を対象として地下水源開発、導水計画、給水計画に関する計画策定を行うものである。1996年度は、本格調査の内容策定を目的として事前調査を実施し、実施細則に署名・交換した。	水利エネルギー省水利局	八千代エンジニアリング(株)

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ギニアウォーム撲滅飲料 水供給計画	水利エネルギー省水利局	日本技術開発(株)				96.4 (事) 96.10 (本) 97.3 (報)	
<p>モーリタニアではギニアウォーム撲滅計画を展開中である。なかでもギニアウォーム罹患率の高い南部4州を対象に、井戸掘削機材の調達と合計200本の井戸掘削を行うものである。</p>							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
セネガル川流域灌漑農業 開発計画	モーリタニア政府の要請に基づき、ロソ市西部地域に位置するディアデル地区およびディオップ地区を対象とした灌漑農業開発計画策定のファイジビリティ調査を実施する。1996年度は、95年度に締結した実施細則に基づき本格調査を開始し、第1次・第2次現地調査および第1次国内作業を実施して、調査結果について着手報告書および中間報告書、進捗報告書(I)、(II)に取りまとめた。	農村開発公社	日本工営(株) 朝日航洋(株) 太陽コンサル タンス(株)

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業開発省農 業局	助日本国際協 力システム	96	4.00	96.66		96.8 (実)

モーリタニアでは1992年、93年に農村開発のための農業部門調整プログラムを策定し、穀物自給率を55%に高める、年間2300haの開墾を進めるなどの目標を立てて、乾期における耕作促進とその安定化を図るため、灌漑区画の拡大とその指導にあたっている。しかしながら、水資源確保のためのインフラ整備は財政不足の現状ではかなりの困難を伴うものであり、長期の投資も必要であるため、自然条件を認識し、天水を最大限に利用する栽培技術の改善指導を強化することによって、可能な限り農業生産を増大することが妥当であると考えられている。同国政府は、このような観点から最も有効な手段として肥料、農薬、農業機械などの農業生産資機材を効率的に使用することとし、これらの調達についての協力をわが国に要請してきた。本件は、モーリタニアの計画を支援するため、必要な農業生産資機材の調達を図るものである。

モーリシアス◎アフリカ

モーリシアス

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	0.10	47.91	
	有償資金協力 (億円)	0	45.96	
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	5.08	33.08	
	形態別	研修員受入 (人)	24 (新規) + 3 (継続)	127
		専門家派遣 (人)	3 (新規) + 6 (継続)	31
		調査団派遣 (人)	40 (新規) + 0 (継続)	309
		協力隊派遣 (人)	0 (新規) + 0 (継続)	0
		機材供与 (100万円)	103	237
	単独機材供与 (100万円)	58.16	126.16	
	開発調査 (件)	1	6	
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1	

わが国の対モーリシアスODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

政府貸付等 0.63 (12.1%)	
無償資金協力 0.92 (17.7%)	技術協力 3.67 (70.2%)

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
車両整備訓練用機材	一式	58,163	公共事業省バス公社	一般単独機材	専門家派遣

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
沿岸資源・環境保全計画 (当初R/D協力期間) 95.12.1~2000.11.30	93	プロジェクト 形成調査	95年度までの 累 計	8	1	6,112	
	94	事前調査	96年度	新規	3	38,665	
	95	長期調査					
	95	実施協議		継続	5		1
	96	計画打合せ					

〈要請背景〉

モーリシャス政府は第6次国家開発計画(1992~1994)において、海洋資源と環境を保全しつつ持続可能な範囲で最大限の利用を図るための調査研究が欠かせないとし、同国で唯一、水産・海洋部門の学術的研究を実施しているアルビオン水産研究所の沿岸資源と環境の保全に関する機能向上を目的に、わが国に技術協力を要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

以下の技術移転を通じて、アルビオン水産研究所の関連部署が有機的に機能し、研究能力が総合的に向上することを目的とする。

- (1) 沿岸海洋環境の調査研究、モニタリング (2) 沿岸生態の解明、ラグーン生態系調査
(3) 水産資源増殖のための種苗生産技術および資源増養殖技術開発

〈協力活動内容〉

- (1) 水産重要種の種苗生産技術および増養殖技術開発のための調査研究を行う。(2) サンゴ礁域、海草藻場、マングローブ域の水質、底質および生物組織分析を行う。(3) 沿岸域の生物分布についてモニタリング調査を実施する。

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
海産エビ養殖実験場建設 計画			85 86	1.09 8.49			97.1 (F/U)

(1) 本体：1980年にわが国の協力のもとで建設されたアルビオン水産研究所の付属施設として、海洋エビ養殖実験場を建設し、関連機材を供与する。第1期においては、ふ化場施設の建設およびふ化場用機材(水質分析器、プランクトン培養タンクなど)の供与を行う。第2期においては、技術者管理棟、ふ化場施設、養殖施設などの建設および管理研究・訓練用機材、養殖用機材を供与する。(2) フォローアップ協力：フォローアップ調査により、養殖池排水問題の現状を確認し、フォローアップ協力の必要性およびその具体的内容を検討した。

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
エネルギーセクター長期開発計画	本件調査の目的は、本格調査団とモーリシャス側カウンターパートとの共同作業により、モーリシャス側の総合エネルギー計画策定能力・政策分析能力を向上させ、一定期間にローリングする同計画策定のための科学的基礎を確立することにある。以上を踏まえ、1996～2025年の総合エネルギー開発計画を策定し、政策を含んだアクションプランを明らかにする。96年度は、95年度に引き続き現地調査を実施し、最終報告書案に取りまとめ、モーリシャス側に説明した。	エネルギー・水資源郵便科学技術省	ユニコインターナショナル(株) 電源開発(株)

モザンビーク

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	48.84	442.86	
	有償資金協力 (億円)	0	40.51	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	3.82	14.59	
	形態別	研修員受入 (人)	22(新規)+0(継続)	85
		専門家派遣 (人)	0(新規)+2(継続)	4
		調査団派遣 (人)	58(新規)+0(継続)	193
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	42
	単独機材供与 (100万円)	0	10	
	開発調査 (件)	1	1	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対モザンビークODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	31.39
技術協力	3.61
政府貸付等	-2.31

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ベイラ港航路維持改良計画	ベイラ港では、年間350万m ³ の航路埋没量があり、航路・泊地の埋没が最大の問題となっている。現在、航路の水深は部分的に水深5mを下回る部分もあり、大型船舶は潮位差を利用して入出港している状況である。港内の船舶の安全性を確保す	運輸通信省	(株)テトラ (財)海外造船協力センター

モザンビーク
アフリカ

	<p>るためにも、これら土砂の除去が必要となっている。本件は、モザンビーク政府の要請に基づき、航路・泊地の埋没が問題となっているベイラ港の航路維持計画を策定するものである。1996年度は、実施細則に基づき本格調査を開始し、第1次現地調査を実施して、調査結果として着手報告書、進捗報告書を作成した。</p>		
--	--	--	--

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ガザ州村落飲料水給水計画	公共事業住宅 省水資源局	㈱パシフィック コンサルタント インター ナショナル	96	2.93	96.12.17		
<p>避難民の帰還や武装解除兵士の帰郷などが進んでいるモザンビークでは、こうした人々の定住を図るために重要視されている生活基盤整備のうち、深刻化している水不足に対処するため、最も緊急性の高いガザ州の井戸や関連施設の建設と井戸掘削に必要な機材を購入する。</p>							
幹線道路橋梁再建計画	建設道路橋梁 管理局	㈱長大	96	5.10	96.12.17	96.5 (本) 96.10 (報)	
<p>内戦により多くの道路・橋梁が破壊されるなどしたため、国内産業が荒廃し、難民の帰還と再定住を進めるうえにも弊害となっていることから、モザンビークの主要港湾とマラウイ～ザンビアを結ぶ(ナンブラ市とベイラ市を結ぶ)幹線道路沿いの3橋梁を再建する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	㈱日本国際協 力システム	96	6.00	96.12.17		96.11 (実) (95年度分) 96.9 (実) 97.2 (実)
<p>モザンビーク政府は、食糧の調達について懸命に努力を払っているが、不足分を十分賄うだけの量に達しないのが現状であり、国民1人当たりのカロリー摂取量は、1803kcal/日(1991年現在)と非常に悪化している。このため、同国政府は新政権の樹立と復興の足がかりとして、96年からの実施をめざす新農業開発5カ年計画をまとめ、難民の帰還を促し、食糧の自給による生活の安定を図ることを基本とした政策に取り組んでいる。本件は、同国が取り組んでいるこれらの食糧増産計画を推進するため農業資機材の調達を図るものである。</p>							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
職業訓練センター機材整備計画	労働省	システム科学 コンサルタン ツ(株)	96	1.65	97.3.18	96.7 (本)	
<p>モザンビークでは、雇用の創出を国家再建計画の具体的目標として掲げ、退役兵士の職業訓練を行っているが、職業訓練センターの機材が老朽化し、また不足しているため、ガス溶接切断器具、自動車整備機材、エアコン修理機材等（マシャワ工業職業訓練センター）、および電気配線用器具、家電製品修理器具等（電気職業訓練センター）の機材供与など、職業訓練機材や教科書、指導用資料等を購入する。</p>							
シブトゥトゥニ教員養成 校復旧計画	教育省計画局	(株)山下設計				96.11 (事) 97.4 (本)	
<p>内戦により閉鎖されたシブトゥトゥニ教員養成校の施設リハビリを行い、必要な教育機材の供与と教育実習用の小・中学校を建設する。</p>							

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
中央病院医療機材整備計画	保健省	アイテック(株)	96	7.05	97.3.18	96.4 (本) 96.7 (報)	
<p>モザンビークの三次医療を担うマプト、ベイラ、ナンブラの各中央病院は、周辺地域住民の診療のみならず、高度な診断、処理が必要な患者の診療を行っているが、医療機材は故障しているものが多く、医療サービスの脆弱化が顕著となっているため、マプト、ベイラ、ナンブラの3中央病院を対象としたレントゲン撮影装置、ICUベッド、保育器、人工呼吸器、分娩台、内視鏡、ベッドサイドモニター、入院患者用ベッド・マットレスなどの医療機材および周辺機材の供与を行う。</p>							

モザンビーク
● アフリカ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	3.00	53.33	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.45	5.00	
	形態別	研修員受入 (人)	14(新規)+0(継続)	51
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		調査団派遣 (人)	18(新規)+0(継続)	69
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	21
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	2	3	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対ナミビアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 3.73 (72.4%)	技術協力 1.43 (27.6%)
---------------------------	-------------------------

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業水利農村 開発省	(財)日本国際協 力システム	96	3.00	96.8.22		96.7 (実)
<p>ナミビアの農業水利農村開発省は「北部地区におけるトウモロコシ、ソルガム、パール、ミレット増産計画」を策定し、これらの作物栽培に対して農業機械による耕運サービスを行うとともに、トウモロコシについてはさらに植え付け、施肥などをも行い主要食糧の増産を図っている。本件は、上記増産計画を推進するための農業資機材の調達を図るものある。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
オタヴィ・マウンテンラ ンド地域資源開発協力基 礎調査	<p>鉱床賦存が予想される地区において各種調査を実施し、調査地域の鉱床賦存状況を把握する。1996年度は、空中電磁探査とボーリング調査を行い、空中電磁探査では砂漠の下の地質構造を明瞭にとらえ、鉱床賦存の可能性のあるいくつかの有望地を抽出できた。また、4孔900mのボーリング調査では、そのうちの1孔で、コア長9.16m、</p>	鉱山エネルギー省地質調査所	同和工営(株)

Pb0.23%、Zn0.38%と低品位ながら鉛微を捕捉した。

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
全国電力開発計画	ナミビア政府は、エネルギーの根幹をなす電力需要に対し、短期的には南アフリカからの輸入で対応し、長期的には自国内で供給可能な構造にする計画である。本件は、電力需要増大に対処するため、短・長期的電力マスタープランを策定する。あわせて技術、経済、財務、組織、環境の視点から、既存の開発計画の評価を行うとともに、その手法の移転を行うものである。1996年度は、予備調査において合意された実施細則に基づき本格調査を開始し、着手報告書の説明および第1次現地調査を実施した。	鉱山エネルギー省	㈱イー・ピー・ディ・シー・インターナショナル 八千代エンジニアリング㈱

ナミビア/ニジェール◎アフリカ

ニジェール

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	20.76	371.49
	有償資金協力 (億円)	1.06	33.06
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	4.35	79.81
	研修員受入 (人)	19(新規) + 2(継続)	185
	専門家派遣 (人)	0(新規) + 3(継続)	26
	調査団派遣 (人)	9(新規) + 0(継続)	463
	協力隊派遣 (人)	14(新規) + 49(継続)	192
	機材供与 (100万円)	11	518
	単独機材供与 (100万円)	0	176
開発調査 (件)	0	11	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対ニジェールODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 2.33
技術協力 6.41
政府貸付等 -3.50

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ギニアウォーム撲滅飲料 水供給計画	公衆衛生省 水利環境省	日本技術開発 (株)				97.2 (事業化 審査基礎調 査)	
<p>ザンディー県を対象に200カ所の新規井戸掘削、130カ所の既設井戸のリハビリを行い、住民へのギニアウォーム予防啓蒙機材を供与する。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業牧畜省	(助)日本国際協 カシステム	95	3.00	96.6.13		96.6 (実) (95年度分)
<p>ニジェール政府は、穀類を対象に増産計画を策定し、わが国に対して協力を要請してきた。この計画は、同国の耕作地帯のほぼ全域に該当する南部ニジェール川流域の灌漑地帯と南部各県（ティラベリ、ドッソ、タウア、マラディ、ザンデル）における生産性向上のための肥料供給、バッタ対策のため耕作地全域を対象として使用する農業、および資材輸送のための車両、灌漑用ポンプなどの必要資機材の調達を図るものである。</p>							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校教室建設計画	国民教育研 究所	(株)大建設計	96	6.76	97.2.28	96.4 (報)	
<p>ニジェールの初等教育改善のため、老朽化した藁葺き小屋・日干し煉瓦校舎を建て替え（トイレなどを含む）、黒板、机などの教育機材を調達する（ニアメ市、ティラベリ県の既存の小学校57校を対象とした137教室の建て替え・増築）。</p>							

ナイジェリア

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	0	190.21
	有償資金協力 (億円)	0	873.82
JICAの 技術協力 実績	技術協力経費 (億円)	0.52	92.91
	形態別		
	研修員受入 (人)	4(新規)+0(継続)	749
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	216
	調査団派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	398
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	0	1,168
	単独機材供与 (100万円)	0	245
開発調査 (件)	0	6	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	4	

わが国の対ナイジェリアODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力	1.77
政府貸付等	-4.00

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
連邦漁業専門学校施設改 善計画			90	8.97			96.5 (F/U) (施設等応急 対策)
			91	13.16			

(1) 本体：ナイジェリア唯一の水産系技術学校は、施設が不十分で教育活動に支障を来していたため、教室棟などの建設と必要機材の供与を行った。 (2) フォローアップ協力：海岸浸食により施設倒壊の危機があるため、応急護岸工事を実施する。

ナイジェリア
アフリカ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	14.91	241.02	
	有償資金協力 (億円)	0	46.49	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.22	24.27	
	形態別	研修員受入 (人)	7(新規)+0(継続)	125
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	21
		調査団派遣 (人)	6(新規)+0(継続)	143
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	52
		機材供与 (100万円)	0	72
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	0	2	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対ルワンダODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.42 (70.9%)	技術協力 0.17 (29.1%)
---------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
公共輸送力増強計画	ルワンダ公共 輸送公社		96	3.00	97.4.14		

内戦やそれに続く混乱により、社会・経済インフラの大半が破壊されたルワンダでは、大多数の国民が公共輸送サービスへのアクセスを奪われていることから、キガリ市内用40台のバスおよび維持管理・修理用機材の動力源として発電機1台を供与する。

サントメ・プリンシペ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0	28.39
	有償資金協力 (億円)	0	0
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.96	5.53
	研修員受入 (人)	6(新規)+0(継続)	32
	専門家派遣 (人)	3(新規)+1(継続)	6
	調査団派遣 (人)	24(新規)+0(継続)	45
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	1	64
	単独機材供与 (100万円)	0	1
	開発調査 (件)	1	1
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対サントメ・プリンシペODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ミニ水力発電計画	サントメの発電設備容量は約6000kWであり、電力需要が年々増加するなか、財政事情から設備増強は進まず、極端な供給不足(4500kW)となっている。本件は、小規模な水力発電所建設の適正度を調査するものである。1996年度は、第1次～第3次国内作業における電力開発調査の結果をもとに、ミニ水力発電所の建設候補地を選定し、主要構造物のレイアウトおよび工事費を算出して、経済・財務分析をする。また、これまでの調査結果をもとに、中間・進捗・最終案の報告書を作成した。第2次～第5次の現地調査を通して調査再委託の契約および各報告書の説明・協議を行い、最終報告書をサントメ・プリンシペ側に送付した。	社会設備環境省天然資源エネルギー局	(株)イー・ピー・ディー・シー・インターナショナル

ルワンダ/サントメ・プリンシペ◎アフリカ

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
アイレス・ディ・メネゼ ス病院医療機材改善計画			93	2.20			96.6 (F/U) 96.10 (F/U) (再活性専門家)
<p>(1) 本体：同病院は、医療施設の中心的役割を担ってきたが、機材の老朽化に伴って機能を十分に果たしていない状態であったため、医療機材の調達を行った。(2) フォローアップ協力：①フォローアップ調査により、プロジェクトの現状、調達機材の現状を確認し、今後のいっそうの活用を促すことを目的に、フォローアップ協力の必要性およびその具体的内容を検討した。②上記フォローアップ調査結果に基づいて再活性専門家を派遣し、X線機器を中心とする医療機材の操作・保守管理に関する技術移転を行った。</p>							

セネガル

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	31.22	622.17
	有償資金協力 (億円)	0	157.88
技術協力経費 (億円)		7.33	129.71
JICAの 技術協力実績	研修員受入 (人)	51 (新規) + 5 (継続)	382
	専門家派遣 (人)	1 (新規) + 6 (継続)	67
	調査団派遣 (人)	28 (新規) + 0 (継続)	701
	協力隊派遣 (人)	25 (新規) + 42 (継続)	326
	機材供与 (100万円)	60	1,256
	単独機材供与 (100万円)	0	319
	開発調査 (件)	1	8
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	1

わが国の対セネガルODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力	56.09
技術協力	7.75
政府貸付等	-0.73

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
放送施設整備計画			86 87	9.00 9.90			97.1 (F/U) (修理班)
<p>(1) 本体：セネガルの国営放送機関「セネガル国営放送」の建物の老朽化と放送機材の不足により、新施設の建設と機材の供与を1961年に行った。(2) フォローアップ協力：(修理班) フォローアップ調査の結果に基づいて購送した機材の据え付けにより、放送設備の修理を行った。</p>							
地方給水施設拡充計画	地方開発水利 省地方水利局	日本テクノ(株)	96	5.14	96.6.17		
<p>セネガルの一部給水施設は人口増加のため施設の拡張などが必要になっているほか、大規模な修理などを行う維持・管理センターの整備も必要になっている。このため、12カ所の給水施設の拡充と2カ所の維持・管理センターの整備工事を行う。</p>							

セネガル
● アフリカ

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
北部漁業地区振興計画	ダカールからサンレイにかけて点在する北部沿岸漁業を対象に、零細漁業の実態を把握し、漁民の生活向上および持続的漁業の実現を図るため、漁業地区振興計画のマスタープランを策定し、優先プロジェクトを選定のうえ、そのフィージビリティ調査を実施する。1996年度は、着手報告書をセネガル側に説明・提出し、マスタープラン策定のための情報収集を行ったのち、マスタープランを含む中間報告書を作成した。	漁業海運省海 洋漁業局	システム科学 コンサルタン ツ(株)

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
苗木育成場整備計画	環境自然保護 省	㈱日本林業技 術協会	96	3.25	96.6.17		97.2 (実)
<p>過去20年間で森林資源の20%が減少したといわれるセネガルでは、苗畑の整備と苗木生産技術の普及に努めている。そこで、国営苗畑を対象に5苗畑整備、本部事務所整備工事とトラック・育苗用具などの購入に必要な資金を供与する。</p>							